

アクセルをより知っていただくためのIRマガジン

# AXELL

## R e v i e w

### ■ 第22期報告書

■ 2016.4.1 ▶ 2017.3.31 証券コード：6730



パチンコ・パチスロ機市場に加え、  
新市場開拓に向けた取り組みで  
持続的な成長を目指します。

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに第22期(2016年4月1日～2017年3月31日)の株主通信をお届けします。

第22期の当社を取り巻く市場環境は、予測を超える厳しいものとなり、誠に遺憾ながら当初計画した業績を達成することができませんでした。また、第23期の業績計画も引き続き厳しい業績予想となっています。このような業績動向を真摯に受け止め、代表取締役をはじめとする業務執行取締役の役員報酬を減額(月額報酬額の10%から15%を1年間)することを決定しました。市場の厳しさはしばらく続くものと考えられますが、早期の業績回復と今後の持続的な成長に向け、役職員一同全力を挙げて取り組んでまいります。

株主の皆さまにおかれましては、引き続きのご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

代表取締役社長 松浦 一教

## ■ 第22期(2017年3月期)の業績について

第22期のパチンコ・パチスロ機市場は、伊勢志摩サミット開催に伴う新台設置の自粛の影響などで予測通り厳しいスタートとなりました。その後、釘打ち問題に起因して一部パチンコ機の入替え需要が発生したものの、入替えが終了した年明け以降はその反動で市場は冷え込む結果となりました。通年でみると当社の市場規模の目安となるパチンコ・パチスロ機の年間販売台数は、236万台\* (前期298万台) 程度まで落ち込んだものと分析しています。

この環境下で主力のグラフィックスLSIの販売数は、87万個(前期実績108万個)にとどまりました。その他の製品では、メモリモジュールが新製品の採用社数が増加するなど前期実績を上回る販売となりましたが、LEDドライバLSIは採用先の販売動向も影響し前期実績に及びませんでした。

### ■ 損益計算書(要約) (百万円)

	第21期	第22期	増減率
売上高	8,982	8,012	△11%
売上原価	4,880	4,466	△8%
売上総利益	4,101	3,546	△14%
販売費及び一般管理費 (研究開発費)	3,857 (2,807)	3,404 (2,453)	△12% (△13%)
営業利益	244	141	△42%
経常利益	220	162	△26%
当期純利益	113	92	△18%

た。以上の結果、第22期の売上高は8,012百万円(前期比11%減)となりました。

販売費及び一般管理費は、複数のLSIの試作開発費が重複した前期に比較すると、452百万円少ない3,404百万円(同12%減)となりました。以上により、営業利益141百万円(同42%減)、経常利益162百万円(同26%減)、当期純利益92百万円(同18%減)となりました。また、当期の配当については、このような状況を勘案し、誠に遺憾ながら1株当たり年間配当額を5円減額し、1株当たり年間5円(期末5円)とさせていただきます。

※パチンコ・パチスロ機の年間販売台数は当社調べ

## ■ 第23期(2018年3月期)の見通しについて

第23期のパチンコ・パチスロ機市場は、第22期に引き続き厳しい環境が想定されます。当社では市場の縮小を見込んでいるものの、主力製

### ■ 貸借対照表(要約) (百万円)

	第21期末	第22期末
流動資産	11,061	10,508
固定資産	1,095	1,520
資産合計	12,156	12,029
流動負債	843	536
固定負債	56	34
負債合計	900	571
純資産合計	11,256	11,457
負債・純資産合計	12,156	12,029

品であるグラフィックスLSIを搭載した基板製品の販売開始や第22期に引き続きメモリモジュールの新製品の販売拡大を見込んでおり、第23期の売上高は9,900百万円(第22期比24%増)を計画しています。

一方、販売費及び一般管理費は、人件費を含めた全般的な経費削減を推し進めていますが、開発が最終段階に入る次期主力製品の開発費が膨らむ見通しのため、全体で3,880百万円(同14%増)の計画となりました。以上により、営業利益20百万円(同86%減)、経常利益20百万円(同88%減)、当期純利益45百万円(同52%減)の計画としました。配当については、第22期と同額となる1株当たり年間5円(期末5円)の計画です。

## ■ 第24期(2019年3月期)の業績目標について

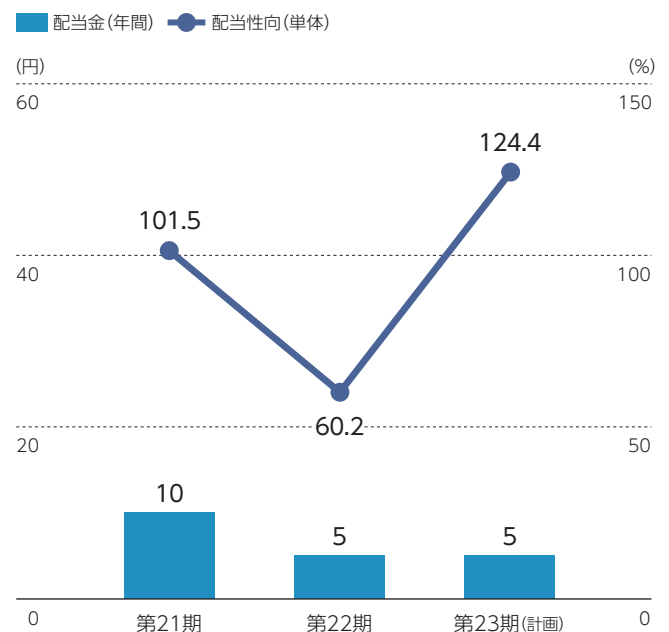
当社では2014年4月(第19期決算発表と同

時)に、第24期に「売上高180億円、ROE15%」を目指す旨の成長戦略を発表しました。この業績目標の基礎となる第24期のパチンコ・パチスロ機市場の規模は、業績目標策定時の市場規模を参考に290万台と見積もっていました。しかしながら、業界団体による自主規制の影響などから、当初の想定を超える市場の縮小傾向が続いており、第23期の市場規模は210万台程度まで落ち込む可能性があるものと考えています。また、今後においてもIR推進法関連の議論が進む中で、パチンコ・パチスロ機市場への依存症対策強化も議論されており、同市場の環境は当面不透明な状態が続くものと考えています。このような状況を鑑み、大変遺憾ではありますが第24期の業績目標は取り下げることとし、当社ではあらためて新市場への進出も含めた取り組みで、早期の業績回復(ROE10%)を目指していきます。

### ■ 第23期の業績予想(百万円)

	第22期	第23期(計画)	増減率
売上高	8,012	9,900	24%
売上原価	4,466	6,000	34%
売上総利益	3,546	3,900	10%
販売費及び一般管理費 (研究開発費)	3,404 (2,453)	3,880 (3,000)	14% (22%)
営業利益	141	20	△86%
経常利益	162	20	△88%
当期純利益	92	45	△52%

### ■ 配当金の推移



### ■ 今後の成長に向けた取り組みについて

パチンコ・パチスロ機市場は、厳しい状況が続くものの、当社製品をはじめとする電子部品の需要が、国内他市場と比較しても依然として大きい市場です。そのため、引き続き当社の事業の重要な市場であるとの認識のもと、市場の深耕拡大に注力していきます。同市場に向けて①「グラフィックスLSIのシェアアップ」、②「グラフィックスLSI搭載基板の展開」、③「周辺部品の拡充」という3つの取り組みに注力し、事業の安定と拡大を目指します。①「グラフィックスLSIのシェアアップ」では、顧客の開発を支援するツール「DUKE」の提供を、次世代主力製品の量産にあわせて強化することで当社製グラフィックスLSIの採用数を伸ばし、市場におけるシェアアップを目指します。②「グラフィックスLSI搭載基板の展開」は、現在複数のお客さまで製品の採用が決定していま

すが、引き続き新規顧客の獲得に向けて積極的な営業活動を展開します。③「周辺部品の拡充」では、汎用メモリモジュール製品をはじめとする各種周辺製品の新規顧客獲得に向けた活動を推進します。

### ■ 新市場への進出に向けた取り組みについて

さらに今後は、パチンコ・パチスロ機市場で培ってきた当社独自の技術を新たな市場に向けて応用し、「ソフトウェアIP、ミドルウェア製品ビジネス」も強化していきます。その先駆けが、2015年にリリースしたムービーミドルウェア「H2MD」です。さらに2017年4月には低負荷・低遅延再生を特長とするゲーム向けサウンドミドルウェア「C-FA」の提供を開始しました。こうした製品群のターゲットとなる領域の1つがゲーム業界です。そこで、機能や性能をゲーム開発者に確認し

### 今後の成長に向けて

新市場 独自の技術を生かして市場を開拓

パチンコ・パチスロ機向け製品

グラフィックスLSIのシェアアップ

グラフィックスLSI搭載基板の展開

周辺部品(デバイス)の拡充  
(メモリモジュールを含む)

その他  
アライアンス、  
M&A等の  
検討

ソフトウェアIP、  
ミドルウェア製品

組み込み機器  
向け製品

ROE 10%  
の早期回復

てもらうため、スマホ向けゲームアプリ「夢幻のラビリズ」を開発（今夏配信予定）しています。このゲームは一般の方々にも楽しんでもらえるよう、配信（無料・アプリ内課金あり）も行います。当社では今後も、複数のソフトウェアIP、ミドルウェア製品を提供していく予定です。そこで、提供するソフトウェアIP、ミドルウェア製品を新たに「AXIP」と名付け、成長戦略の1つとして、一層積極的な事業活動を展開していきます。

また、組み込み機器向け製品についても、同様に強化を図っていきます。医療機器などで採用が進んでいる組み込み機器向けのグラフィックLSIでは、2016年に量産を開始した新製品「AG903」で採用先の拡大を目指します。このほか、さまざまな企業とアライアンスを組み合わせながら事業の拡大を推進していきます。

さらに、今後の新規分野への進出を見据え、アライアンスやM&Aも積極的に検討していきます。

2016年においては、ザインエレクトロニクス株式会社と車載機器や事務機器向け製品で両社の知見を生かした共同開発を行う旨の業務提携に合意したほか、車載機器向けのソフトウェア開発に強みを持つエスディーテック株式会社に出資を実行しました。

このように、パチンコ・パチスロ機市場向けの製品・技術開発と並行し、その他市場向けに開発してきた製品による取り組みを本格化させていきます。今後はこれらの製品をきっかけとして、これまで以上に新市場への取り組みを積極的に展開していきます。こうした取り組みを有機的に展開することで、当社では早期にROE10%の回復を目指します。厳しい環境下ではありますが、株主の皆さまには今後の事業方針をご理解いただき、引き続きご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

## 新市場への展開 ソフトウェアIP製品等のラインアップ強化



アクセルが提供するソフトウェアIP、ミドルウェアの総称。今後継続してラインアップの拡充を図る。



画像圧縮機能を活用し、WEBブラウザ等での動画再生を行うムービーコーデック。



低負荷で低遅延再生が特長のゲーム向けサウンドミドルウェア。滑らかなループ再生が可能。

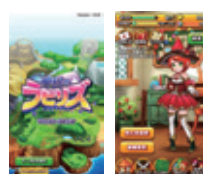
浸透に向けた  
施策展開

### 特設サイトにて提供開始



■ AXIP特設サイト  
<https://ax-ip.com/>

### 活用例としてゲームアプリ「夢幻のラビリズ」を配信



■ 「夢幻のラビリズ」公式WEBサイト  
<https://labyriz.com/>